



NTT都市開発

NEWS Release

2014年10月1日

報道関係各位

NTT都市開発株式会社

複合オフィス「秋葉原UDX ウッドデッキ改修工事」



2014 年度グッドデザイン賞を受賞

NTT都市開発株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:牧 貞夫)は株式会社 sai ブランド(本部:東京都江戸川区、代表取締役:結城 拓士)と実施した、「秋葉原UDX ウッドデッキ改修工事」が、2014 年度グッドデザイン賞(公共用の空間・建築・施設部門)を受賞しましたので、お知らせいたします。

■「秋葉原UDX ウッドデッキ改修工事」

秋葉原 UDXビルは8年前の2006年に竣工・開業し、大きな発展を遂げている秋葉原の街とともに歩んできました。とりわけ1、2階のデッキスペースはJR秋葉原駅へとつながる快適な通路としてだけでなく、時にはイベントスペースとして利用され、腰かけてくつろげる都市のオアシスとして多くの人々で賑わっています。天然木材を用いた外部ウッドデッキは年月とともに風合いを増しながらも改修の時期を迎え、これまで親しまれていたデッキ空間の良さを残しながら、新たな付加価値を取り入れた再生デッキ工法による改修を行いました。

- ◆ 既存ウッドデッキ材を再利用することで、資源保護、廃棄物最小化に貢献。
- ◆ 既存ウッドデッキ材表面を波模様が美しく連続するデザインとなるよう薄く削り、経年によって1枚1枚異なった風合いを積極的に表現。
- ◆ ミリ単位で配置された波模様は、歩行者の滑防止にも有効。

なお、「秋葉原 UDX」については2007年度グッドデザイン賞(建築・環境デザイン部門)を受賞しており、2度目の受賞となります。

＜審査委員の評価＞

古くなったウッドデッキの再生である。古くなったウッドデッキをただ剥がして捨てるのではなく、積極的な再利用を図っている。傷んだ表面を削り取る際に、単に削り取るのではなく削り取ったパターンを滑り止めとして使っているところが面白い。さらにはそのパターンをデザインにまで高めている点が評価できる。新品では味わえない深みのあるデザインである。

＜参考:グッドデザイン賞とは＞

「グッドデザイン賞」は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、総合的なデザインの推奨制度です。その母体となったのは、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」であり、以来50年以上にわたって、私たちの暮らしと産業、そして社会全体を豊かにする「よいデザイン」を顕彰し続けてきました。また、「Gマーク」は、創設以来半世紀以上にわたり、「よいデザイン」の指標として、その役割を果たし続けています。



年月を経た再利用材ならではの味のある風合い



改修前のウッドデッキ
-8年の年月を経て劣化-



改修後の美しい連続した波模様
-裏面を再利用、波模様は滑り止めに-



安全に美しく生まれ変わったウッドデッキ

<参考>

「秋葉原UDXビル」物件概要

所在地	東京都千代田区外神田 4-14-1
交通	JR「秋葉原」駅より徒歩 2 分、東京メトロ日比谷線「秋葉原」駅より徒歩 3 分、 東京メトロ銀座線「末広町」駅より徒歩 3 分、都営新宿線「岩本町」駅より徒歩 6 分他
建物規模	地上 22 階地下 3 階建
改修概要	秋葉原UDXビル 1 階及び 2 階の外部ウッドデッキ材再利用による改修
改修実施者	NTT都市開発株式会社
施 工・デザイン協力	株式会社 Saiブランド
竣 工	2014 年 6 月